

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公開番号】特開 2019-126495 (P2019-126495A)

【公開日】令和 1 年 8 月 1 日 (2019.8.1)

【年通号数】公開・登録公報 2019-031

【出願番号】特願 2018-9290 (P2018-9290)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 4 E

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことで有利状態に制御可能な遊技機であって、

所定の契機にもとづいて計数表示を更新表示可能な計数表示実行手段を備え、

前記有利状態は第 1 有利状態と第 2 有利状態とが含まれ、

前記計数表示実行手段は、前記第 1 有利状態において更新後の計数結果を表示するまでの期間が第 1 期間である第 1 パターンにより前記計数表示を更新表示可能であり、前記第 2 有利状態において更新後の計数結果を表示するまでの期間が前記第 1 期間よりも長い第 2 期間である第 2 パターンにより前記計数表示を更新表示可能であり、前記有利状態に制御された後に再び前記有利状態に制御された場合においても、前記計数表示の更新表示を継続する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

(手段 A) 本発明による遊技機は、遊技を行うことで有利状態に制御可能な遊技機であって、所定の契機にもとづいて計数表示を更新表示可能な計数表示実行手段を備え、前記有利状態は第 1 有利状態と第 2 有利状態とが含まれ、前記計数表示実行手段は、前記第 1 有利状態において更新後の計数結果を表示するまでの期間が第 1 期間である第 1 パターンにより前記計数表示を更新表示可能であり、前記第 2 有利状態において更新後の計数結果を表示するまでの期間が前記第 1 期間よりも長い第 2 期間である第 2 パターンにより前記計数表示を更新表示可能であり、前記有利状態に制御された後に再び前記有利状態に制御された場合においても、前記計数表示の更新表示を継続する、ことを特徴とする。

(手段 1) 他の態様の遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、所定の契機 (例えば、大入賞口や特殊入賞口 2 4 に遊技球が入賞したこと) にもとづいて計数表示 (例

例えば、賞球数表示)を更新表示可能な計数表示実行手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ200におけるステップS707を実行する部分)を備え、計数表示実行手段は、更新後の計数結果を表示するまでの期間が第1期間である第1パターン、および更新後の計数結果を表示するまでの期間が第1期間よりも長い第2期間である第2パターンにより、計数表示を更新表示可能である(例えば、大当たりパターンで賞球数表示300を表示する場合には、第1速度(例えば、0.1秒)で賞球数を1ずつ増加させる表示を行い、第2KTパターンで賞球数表示305を表示する場合には、第2速度(例えば、0.5秒)で賞球数を1ずつ増加させる表示を行う)ことを特徴とする。そのような構成によれば、計数表示を更新表示するパターンを複数種類備えることにより、計数表示の更新表示を行う場合に遊技に対する興趣を向上させることができる。